

考 備	教 育 總 監 部						造 兵	兵 器	兵 器	築 城 部	參 謀 本 部	技 術 本 部
	工 兵 學 校	通 信 學 校	士 官 學 校	野 戰 砲 兵 學 校	砲 工 學 校	本 部						
	—	二	—	—	—	—	三	—	一	—	—	二
	—	二	—	—	—	—	三	—	一	—	—	二
							教 育 總 監 部					
	計						習 志 野 學 校	教 導 學 校	自 動 車 學 校	重 砲 兵 學 校	騎 兵 學 校	步 兵 學 校
		—	—	—	—	—	—					
		—	—	—	—	—	—					

Handwritten notes and numbers on the left margin of the page, including:

- Vertical text: 考備 (left side), 部監總育教 (middle), 造兵 (right side)
- Numbers: 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100



圖面添付
別紙添付

八〇〇



陸技本甲第五四七號

土工器材九四式動力鑿井機制式制定相成度件上申

昭和九年九月二十九日

陸軍技術本部長 岸 本

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題器材ノ制式ヲ別紙圖面ノ通制定セラレ度關係書類ヲ添へ上申ス

追テ本文ノ器材制式制定ノ上ハ現制九一式動力鑿井機ノ制式ヲ廢止セラレ度但

既成動力鑿井機ハ其儘新制式品ノ代用トシテ命數限り使用差支ナキ意見ニ付申

添フ

添 附 書 類

九四式動力鑿井機 制式兵器圖
兵器製作圖

一 六
一 二
葉 葉

同 兵器細目名稱表

一 部

同 概説並審査經過ノ概要

一 部



保存期限		永久		決裁指定		決行指定	
受領番		參第八四二號		件名		鐵道器材九四式腕線器制式制定件	
大臣		委		政務次官		次官	
局長		主務		參		陸軍技術本部	
高級副官		副官		主務副官		書記官	
主務課長		課長		主務課員		審案	
局長		局長		局長		筆記者	
昭和三十九年五月五日		昭和三十九年五月五日		昭和三十九年五月五日			
昭和三十九年五月五日		昭和三十九年五月五日		昭和三十九年五月五日			

永久甲

9.10.22
受115
兵務課

手帳
十一號
二五號
二五號
頭
七
十
其
九二
九二
回
回
無
無
十
十
十

陸軍

參 第八四〇 第一

陸技本甲第一五八號

土工器材九四式動力鑿井機圖面竝概說送付ノ件通牒

昭和十年四月四日

陸軍技術本部副官

岡田

護

陸軍省副官 牛島

滿殿

客年十月八日附陸普第六〇二九號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概說

(圖面六拾五枚 概說 壹枚)

各百拾六通送付ス

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度



第 840

鐵道器材九四式脫線器制式圖

配賦表

第八師團	第七師團	第六師團	第五師團	第四師團	第三師團	第二師團	第一師團	近衛師團			配賦箇所	配賦部數	小計	
兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	飛行器隊部	兵器部	兵器部	飛行器隊部	飛行器隊部	飛行器隊部	飛行器隊部	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
航空本部	關東軍	臺灣軍	第二十師團	第十九師團	第十六師團	第十四師團	第十二師團	第十一師團	第十師團	第九師團	飛行學校部	1	4	1
1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1
1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1

彈
十三重三
三彈
一彈
二名彈
二名彈
二名彈
七名
十
火彈
火彈
其
九二式
九二式
九二式
四光機
無線電
無線電
無線電
鐵
彈
計
二名
二名
彈部

別添添付

圖添添付 參第 八四二九

陸技本甲第五四九號

鐵道器材九四式脱線器制式制定ノ件上申

昭和九年九月二十九日

陸軍技術本部長 岸 本

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題器材ノ制式ヲ別紙圖面ノ通制定セラレ度關係書類ヲ添へ上申ス

添 附 書 類

九四式脱線器 制式兵器圖
兵器製作圖

一 一 葉 葉

同 細目名稱表

一

同 概説並審査經過ノ概要

一



九年
參 八四二



陸



陸技本甲第二一二號

鐵道器材九四式脫線器圖面竝概說送付ノ件通牒

昭和十年四月二十二日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島 滿 殿

客年十月二十四日附陸普第六三六六號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概說
各百拾壹通送付ス

(圖面四拾枚
概說 壹枚)

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度

四面送付アリニ付茶葉
作り奉り候

五月廿五日

岩村屋

右所ヨリ

別紙一通 通牒了りて付
第之書未用し陸軍部
以記し未用也
四日付
岩林
長

陸密辨

通牒

副官より陸軍通信學校長へ

首題ノ件三月廿五日附通校第三三三號上申
ノ通制式制定セラルルハキニ付該構造造要領
二口通調製差出サレ越

進テ本兵器ハ第一級秘密兵器取扱ニ定メラルハ
キニ付申添フ

陸密第二三九號

昭和十年四月八日

右構造造要領差出アリタル上左案不悖リキニ付

件名一同右

副官より別紙配賦箇所

首題ノ件別紙構造造要領ノ通制式制定

首題ノ件別紙構造要領ノ通制式制定
セラレタルニ付該構造要領配賦目錄ノ通
送付ス

迨テ本兵器ハ第一級秘密兵器取扱ニ付

申添フ

陸密第二五七號

昭和十年四月十三日

昭和十年五月廿三日 倉田

陸軍

社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會

社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會
社 會

第八師團	第七師團	第六師團	第五師團	第四師團	第三師團	第二師團	第一師團	近衛師團			配賦箇所	配賦部數	小計	配賦箇所	配賦部數	小計	
兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部	飛行兵器部
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	1	1	2	1	2	2	1	2			2	1	1	1	1	1	1
航空本部	關東軍	臺灣軍	第二十師團	第十九師團	第十六師團	第十四師團	第十二師團	第十一師團	第十師團	第九師團	飛行學校部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部
1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

通信器材
九四式一彈型特殊受信機
配賦表

考 備	部 監 總 育 教					造 兵	兵 器 局	兵 器 本 廠	築 城 部 本 部	參 謀 本 部	技 術 本 部
	工 兵 學 校	通 信 學 校	士 官 學 校	野 戰 砲 兵 學 校	砲 工 學 校						
	一	二	一	一	一	三六	一	一四	一	一	四
	一	二	一	一	一	三六	一	一四	一	一	四
						部 監 總 育 教					
						習 志 野 學 校	教 導 學 校	自 動 車 學 校	重 砲 兵 學 校	騎 兵 學 校	步 兵 學 校
						一	各一		一	一	一
						一	三		一	一	一
	計										
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一



軍省 第一五三三號

通校第三三三號

器材制式制定セラレ度件上申

昭和十年三月二十五日

陸軍通信學校長 中島 完一

陸軍大臣 林 銑十郎 殿

九四式一號型特殊受信機ノ制式ヲ制定セラレ度左記書類相添へ上申ス

追而陸軍技術本部長トハ協議濟ニ付申添フ

左記

- 九四式一號型特殊受信機構造要領
- 同 右 細目名稱表
- 同 右 審査經歷書
- 陸軍兵器機(秘)密取扱區分表



軍

德	社	製	機
六	社	製	機
七	社	製	機
八	社	製	機
九	社	製	機

新	社	製	機
新	社	製	機
新	社	製	機
新	社	製	機
新	社	製	機
新	社	製	機
新	社	製	機
新	社	製	機
新	社	製	機
新	社	製	機

大 命 三 千

保存期限 (永久) 決裁指定 (官) 執行指定 (官)

大臣委		政務次官 回付 決裁前後連帶	件名 參第五八號 機力器材九四式工作機制式制定1件	番 參第五八號	受 領
局長 主務局長					
高級副官 牛島		參與官	書記官	審案	筆記者
主務課長		主務副官 官房御用掛	主務課員		
連帶局長					
決裁後 行回覽					
昭和三十九年七月三日		昭和三十九年十月廿二日	昭和三十九年六月十五日		
領受		提出	了結		
大臣官房		主務局長			

昭和三十九年六月十五日

陸善群 通 牒

副官より陸軍技術本部長へ

首題一件七月廿八日附陸技術本甲第四一五號上申
一通可被定二付該兵器回柱概説各一一三通
調製差出相成度

陸普第六三六一號

昭和九年拾月廿四日

右兵器回柱概説送付アリタル上左案法行セラル度

件名一同右

副官より別紙配賦箇所

首題一件別紙回面一通制式制定セラルタル付該
兵器回柱概説配賦目録一通送付ス

陸普第二七八四號

昭和十年五月十五日
昭和十年六月十日
及兵器送付

Handwritten notes on the left margin, including dates and names, partially obscured by the table.

考 備	部 監 總 育 教					造 兵	兵 器	兵 器 本 廠	築 城 部 本 部	參 謀 本 部	技 術 本 部	
	工 兵 學 校	通 信 學 校	士 官 學 校	野 戰 砲 兵 學 校	砲 工 學 校							本 部
	一	二	一		一	一	一	一	一	一	二 五	
	一	二	一		一	一	一	一	一	一	二 五	
						部 監 總 育 教						
						習 志 野 學 校	教 導 學 校	自 動 車 學 校	重 砲 兵 學 校	騎 兵 學 校	步 兵 學 校	
	計											
	一 二 三											

陸軍省
陸軍省
別紙添付

陸軍省

六五八

陸軍省
9.7.30
大臣官房

陸軍省

陸

陸技本甲第四一五號

機力器材九四式工作機制式制定ノ件上申

昭和九年七月二十八日

陸軍技術本部長 緒方勝一

陸軍大臣 林銑十郎 殿

首題器材ノ制式ヲ別紙圖面ノ通制定セラレ度關係書類ヲ添ハ上申ス

添附書類

九四式工作機 制式兵器圖
兵器製作圖

四 五 四
葉 葉

同 兵器細目名稱表

同 概説並審査經過ノ概要

陸軍省
9.7.30
陸軍省

參六五八一

陸技本甲第二四四號

機力器材九四式工作機圖面竝概説送付ノ件通牒

昭和十年五月十四日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島 滿 殿

客年十月二十四日附陸普第六三六二號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概説

(圖面四拾八枚) 概説 壹枚 各百拾參通送付ス

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度



陸軍



四面送付アリシニ付
決り奉り候

昭和十一年五月卅一日

岩井 謙

石井 謙

陸普第

達

關係陸軍部隊、

九三式百五十輝探照燈取扱法別冊

一通定ム

年月日

陸軍大臣

陸普第三三四七號

昭和十年六月十二日

六百廿七

一本文別冊ニ合綴ノ事

二官房ニ於テ印刷、上別紙配賦表ニテ配賦

セラレ度（印刷部表五一〇部）

陸軍大臣

陸軍大臣



現品添付 陸軍省 奉第三八九號



陸軍

陸技本甲第二三〇號



二官房ニ於テ印刷、上別紙配賦表ニテ配賦
セラレ度（印刷部数五一〇部）

現品添付

陸軍

領省

參第三八九

號

陸軍省
昭和十
10.5.8
前午
官臣

陸

軍

軍

陸技本甲第二三〇號

兵器取扱法制定相成度件上申

昭和十年五月七日

陸軍技術本部長 岸 本

綾 夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

左記兵器ニ對スル取扱法別冊ノ通制定相成度

追テ別冊二部（附圖共）送付ス

左 記

一、照明器材

九三式百五十糎探照燈

陸軍省
10.5.8
第69號
器材課

陸軍省
10.5.8
昭和十

陸軍部 通牒

陸軍部

副官長 陸軍技術本部長

首級一件七月廿八日附陸技本甲第四一六號上
中一通可被定三付該兵器圖說概說各一二九通
調製善出相成度

陸軍部第五九九三號 昭和九年拾月八日

右兵器圖說概說等件...

件名一同右

副官長 別紙配賦簡新 昭和十年六月十日

首級一件別紙圖面一通制式圖說等件
兵器圖說概說配賦目 陸軍部二六八〇號 昭和十年正月廿日

Vertical text in a grid on the left side of the page, likely a list or index of items.

陸普第二六八〇號

昭和十年五月九日

昭和十年六月十日

及子春運信



陸軍

陸普輝

通牒

副官長 陸軍技術本部長

首題、件七月廿八日附陸技術本甲第四一六號上
申、通可被定三付該兵器圖誌概說各一二九通
調製差出相成度

陸普第五九九三號 昭和九年拾月八日

右兵器圖誌概說送付下り上左案送りセラレ度

件名一同右

副官長 別紙配賦箇所、

首題、件別紙圖面、通制式制定セラレタル三付該
兵器圖誌概說配賦目錄、通送付ス

陸普第二六八〇號

昭和十年五月九日

昭和十年六月十日

圖面添付
別紙添付

陸技本甲第四一六號

鍛工器材九四式鎔接切斷機制式制定ノ件上申

昭和九年七月二十八日

陸軍技術本部長 緒方勝一

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題器材ノ制式ヲ別紙圖面ノ通制定セラレ度關係書類ヲ添へ上申ス

添 附 書 類

九四式鎔接切斷機 制式兵器圖
兵器製作圖

二
〇一
葉 葉

同

兵器細目名稱表

同

概説並審査經過ノ概要

陸軍省
9.7.30
大臣官房

陸軍省

陸

軍

陸軍省
9.7.30
器材課

器材

圖面別送券 第六五九

一

陸軍



陸技本甲第二三一號

鍛工器材九四式銼接切斷機圖面竝概説送付ノ件通牒

昭和十年五月八日

陸軍技術本部副官 岡田

護

陸軍省副官 牛島 滿 殿

客年十月八日附陸普第五九九三號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概説

(圖面貳拾貳枚) 概説書枚) 各

百貳拾九通送付ス

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度



659

四面送付アリシニ付
茅ニ柔法行キ申付

昭和五年五月卅一日

岩村 研

右 序 以 下

別紙

令達番号

陸軍省三八一

費目

軍用費
馬匹費

品

九五式輕操舟機

目

數量

八〇

變更事項

内五〇ヲ兵器其他整備
費支弁ニ變更

陸軍

右房

陸善辨

達

關係陸軍部隊

架橋器材九三式重構桁鐵道橋並同架設機
取扱法別冊ノ通定ム

年月日

陸軍大臣

陸軍第三九六三號 昭和十年七月十一日

一本達文ハ別冊ニ合綴ノ事

二別冊ハ官房ニ於テ印刷ノ上別紙配賦表ニヨリ

配賦セラレ度

陸軍第六號

六八

陸軍

陸軍第六六號

昭和十年七月十一日

陸軍

陸軍

陸技本甲第二三號

26

昭和九年八月十三日陸普第四

陸軍技術本部參事第六六號

陸技本甲第二三號

兵器取扱法制定相成度件上申

昭和十年一月二十五日

陸軍技術本部長

岸本

綾夫

陸軍大臣 林 銑十郎 殿

左記兵器ニ對スル取扱法別冊ノ通制定相成度

追テ別冊（附圖共）二部送付ス

左記

架橋器材 九三式重構桁鉋道橋

同 架設機 昭和九年八月十三日陸普第四
八九五號ヲ以テ制式制定ノ分



陸

軍



十番尺
九番尺
八番尺

倉雄

十

風車

九式

大

九

九

七

探照燈

十

公

精

十

結

下

尺

十

自動

自動

油

十

保存期限

永久

決裁指定

局長

決行指定

牛島

五三

政務次官 回付

決裁 前後 連帶 課名

官主

決行(決裁)後 回覽 課名

交申

三千

起元應(課)名

陸軍省製局器材課

件名

兵器細目名稱表(器材)制定並修正ノ件

受領 番號

第九五〇號

起元應(課)名

陸軍省製局器材課

大臣 委

次官 委

高級 副官

牛島

代

主務 副官

官房 御用

主務 課員

審案 筆記者

局長 主務

主務 課長

主務 課員

大臣 房官	大臣 房官	局長 主務	局長 主務	大臣 房官	大臣 房官
了結	領受	出提	領受	號番	號番
昭和	昭和	昭和	昭和	第九	第六
年	年	年	年	號	號
八月	五月	五月	五月		
日	日	日	日		
		昭平	昭平		
		九月	九月		
		九日	九日		
		日	日		

(裁決)行決 覽回後

局長

長課

連帶

局長

長課

左

尾

兵器細目名稱表（器材）
（配賦表）

技術本部	侍從武官府	教育總監部	參謀本部	兵器局	整備局	軍務局	大臣官房	配賦箇所	
								部	數
								平時	戰時
								計	戰時二
								配賦箇所	部
								數	計
第十一師團	第十師團	第九師團	第八師團	第七師團	第六師團	第五師團	第四師團	一四	一四
一二	一二	一二	一五	一四	一四	一三	一四	四三	五一
四五	四一	四五	四七	二九	四八	六三	五一	五五	六五
五五	五三	五七	六二	四三	六二	七六	六五		
								戰時二	配賦數

備考	第三師團	第二師團	第一師團	近衛師團	東京警備司令部	航空本部	運輸部	築城部本部	造兵廠	兵器廠	工科學校	科學研究所
	二一七三九四	一五五三六八	二三六三八六	二〇一三三一五三		二七二七	七七〇	一三九	三九三〇	三〇	一七	一七
備考	印刷部數	計	經理學校	支那駐屯軍	關東軍	臺灣軍	朝鮮軍	第二十師團	第十九師團	第十六師團	第十四師團	第十二師團
	一、五八〇	五、二九二、一四三三	一	四	五、三二六、七九	一、四九二、三〇	三三〇	一、七一一、三〇〇	一、五一一、二六〇	一、六五六、七二	一、二四五、五七	二、七六二、八九

戦時ニ配賦數トハ戦時必要ニ際シ配賦スルモノニシテ陸軍省保管
シ直クモノトス

古ヶ所之部厚三九

陸普

指令

陸軍航空部部長へ

七月二十四日附紙甲第一四九號申請、

通認可す

陸普第四三〇四號

昭和十年七月卅日



Table with 10 vertical columns and 1 row, containing faint, illegible text.



Vertical ledger or table on the left margin with numerical entries (e.g., 1.50, 1.00) and some handwritten text.

器材

陸軍

陸軍省 陸軍部 第六九號

航甲第一四九號

兵器業務規定制定ノ件申請

昭和十年七月廿四日

陸軍航空本部長 堀 丈夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

左記兵器業務規定別紙ノ通規定シ度ニ付認可セラレ度

左 記

- 一 陸軍航空本部兵器業務規定
- 二 陸軍航空廠兵器業務規定

陸軍省 昭和十年七月二十五日

昭和十年七月廿五

陸軍省 10.7.25 第28號 銃砲課

陸軍省 10.7.25 第28號 器材課

軍

別紙
3月6日
清山

陸軍航空本部長 堀 丈夫 印

021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
021	021	021	021	021	021	021	021	021	021

保存期限 永久 決裁指定 執行指定

三 七

政務次官 回付 決裁前後連帶

受領番號

參第 二七九 號

件名 主器材九五式凍土破砕機制式制定件

起元慶(課)名

陸軍技術本部

大臣 委

政務次官

參與官

書記官

審案 筆記者

局長

高級副官

主務副官

主務局長

主務課長

主務課員

主務課員

主務副官

主務局長 昭和三十年四月八日
 局長 昭和三十年五月廿五日
 受領 昭和三十年五月廿五日
 了結 昭和三十年五月廿五日

決裁後(裁決)行覽

局長 局長

課長 課長

兵統 永久甲 五年

10.5.13 陸軍省 統制課

10.5.9 陸軍省 統制課

10.5.7 陸軍省 統制課

陸軍

陸善輝 通 牒

副官 陸軍技術本部長

首題ノ件 三月廿日附陸技本甲第143號上
申ノ通可被定ニ付該兵器圖竝概説各一二七
通調製差出相成度

陸普第二七八〇號 昭和十年五月十五日

右兵器圖竝概説差出リタル上左案示法行ヒレ度

件名 一同 右

副官 別紙配賦箇所

首題ノ件 別紙圖面ノ通割式制定セラレタルニ
付該兵器圖竝概説配賦目錄ノ通送付ス

陸普第四一八六號 昭和拾年七月廿貳日

昭和拾年八月廿日 現出書控

考 備	部 監 總 育 教						造 兵	兵 器	兵 器 本 廠	築 城 部 本 部	參 謀 本 部	技 術 本 部	
	工 兵 學 校	通 信 學 校	士 官 學 校	野 戰 砲 兵 學 校	砲 工 學 校	本 部							
	一	二	一		一	一	三 六	一	一 五	一	一	二 五	
	一	二	一		一	一	三 六	一	一 五	一	一	二 五	
	計						部 監 總 育 教						
													習 志 野 學 校
							一						
							一						

50
 50
 40
 40
 11
 40
 50
 50

軍省 參第 二七九 號

昭和 10.4.8 午前 陸軍省 官

陸軍

陸技本甲第一四三號

九五式凍土破碎機制式制定セラレ度件上申

昭和十年三月三十日 陸軍技術本部長 岸 本 緩 夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題ノ器材別紙圖面ノ通制式制定セラレ度左記書類ヲ添へ上申ス

左 記

兵器圖 制式兵器圖 兵器製作圖

一 五一 葉葉

兵器細目名稱表

器材概說 審査經過ノ概要



陸軍省 10.4.8 第 二七九 號 器材課

參 第三七九 號 其一

陸技本甲第三八二號

土工器材九五式凍土破碎機圖面竝概說送付ノ件通牒

昭和十年七月十九日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島 滿 殿

本年五月十五日附陸普第二七八〇號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概說

(圖面拾六枚 概說 壹枚)

各百拾七通送付ス
追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上銃砲課へ直送可致ニ付承知セラレ度

銃砲

甲申

陸軍省 昭和十年七月二十日 陸軍省副官 岡田

陸軍省

陸

軍

陸軍省 10.7.20 第48 器材課

021
211
210
1110

三 八

保存期限
決裁指定
常任
決行指定
牛島

政務次官 回付
決裁前後連帶
課名

紅

永久用
32

決行(決裁)後
回覽課名

10.5.7
永久用

021
021
1410
1111
1110
021
021
021
021

受領番
件名
鐵道器材九五式枕木鑽孔機制式制定件
陸軍技術本部

大臣 委

政務次官

次官

參與官

書記官

審案
筆記者

主務局長

高級副官

主務副官
官房御用掛
主務課員

主務局長
受領番
器參第四七號
昭和十年四月八日
昭和十年五月九日

大臣官房
受領
昭和 年 月 日
昭和 年 月 日

決行(決裁)後
回覽

局長

局長

課長

課長

牛島

主務課員

局長

陸軍部

通

牒

到

軍

副官長 陸軍技術部部長

首題，件三月三日附陸軍本部甲第一四四號

上中，通可被定二月該兵器同誌概說若

一二三通調製差出相成度

陸軍第二六七二號

昭和十年五月九日

件名一同右

副官長 別式 細味餘半八日廿日

首題，件

圖書錄三六二六號

細味十半廿日

兵不月該兵器同誌概說



Handwritten notes in the top left margin.

Handwritten notes in the left margin, including numbers like 150 and 155.

024
六三
三三
三三

021
021

024
024

021
021

021
021

024
024

024

021

021

第八師團	第七師團	第六師團	第五師團	第四師團	第三師團	第二師團	第一師團	近衛師團			配賦箇所	配賦部數	小計	配賦箇所	配賦部數	小計
兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	二	二	一	三	三	三	三	三	三	三	三	三
航空本部	關東軍	臺灣軍	第二十師團	第十九師團	第十六師團	第十四師團	第十二師團	第十一師團	第十師團	第九師團	第九師團	第十師團	第十一師團	第十二師團	第十四師團	第十六師團
飛行學校部	兵器部	飛行隊部	飛行隊部	兵器部	飛行隊部	兵器部	飛行隊部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部
二	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

鐵道器材
九五式枕木鑽孔機兵器團
配賦表

考 備	部 監 總 育 教					造 兵	兵 器 局	兵 器 本 廠	築 城 部 本 部	參 謀 本 部	技 術 本 部
	工 兵 學 校	通 信 學 校	士 官 學 校	野 戰 砲 兵 學 校	砲 工 學 校						
	一		一		一	一	一	一	一	一	二 五
	一		一		一	一	一	一	一	一	二 五
	計					部 監 總 育 教					
											習 志 野 學 校

Handwritten notes and numbers on the left margin, including "150", "200", "150", "100", and "200".

圖面添付
別紙添付

陸軍省
參第 二八〇 號

陸技本甲第一四四號

九五式枕木鑽孔機制式制定ノ件上申

昭和十年三月三十日

陸軍技術本部長

岸本

綾夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題兵器ノ制式ヲ別紙制式圖ノ通制定セラレ度關係書類ヲ添へ上申ス

添 附 書 類

九五式枕木鑽孔機制式兵器圖

兵器製作圖

細目名稱表

概説並審査經過ノ概要

一 葉

二 〇 葉

一 一

一 一



陸 軍



參 第二八〇號 其

陸技本甲第三六一號

鐵道器材九五式枕木鑽孔機圖面竝概說送付ノ件通牒

昭和十年七月八日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島 滿 殿

本年五月九日附陸普第二六七一號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概說
各百拾貳通送付ス

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度

圖面貳拾壹枚
概說 壹枚



陸軍



280

陸普第

通牒

副官長 陸軍技術本部長

首題ノ件五月廿二日附陸技本甲第ニ五六號
上申ノ通制定セラルルハキニ付該兵器圖竝
概説各一二三通調製差出相成度

陸普第三〇九六號 昭和十年五月廿一日

右兵器圖竝概説差出アリタル上左案依リセラル度

件名 同 右

副官長別紙配賦箇所

首題ノ件別紙圖面、通制定セラルタルニ付
該兵器圖竝概説配賦目錄ノ通送付ス



首題、件別紙圖面、通制式制定セラレタルニ付
該兵器圖並概説配賦目錄ノ通送付ス



陸普第四〇九一號 昭和拾年七月拾七日

昭和拾年八月廿四日現出書類共々送付ス

陸軍

50
 455 1.8
 415 2.5
 311

考 備	部 監 總 育 教					造 兵	兵 器	兵 器 本 廠	築 城 部 本 部	參 謀 本 部	技 術 本 部	
	工 兵 學 校	通 信 學 校	士 官 學 校	野 戰 砲 兵 學 校	砲 工 學 校							本 部
	一		一		一	一	一	一	一	一	二 五	
	一		一		一	一	一	一	一	一	二 五	
	計					部 監 總 育 教						
						習 志 野 學 校	教 導 學 校	自 動 車 學 校	重 砲 兵 學 校	騎 兵 學 校	步 兵 學 校	

150
 150
 311 1.5
 411 1.8
 311
 411
 150
 150

器材

別紙添付
面添付

陸技本甲第二五六號

鐵道器材鐵道汽罐修理具制式制定ノ件上申

昭和十年五月二十二日

陸軍技術本部長

岸

本 綾夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題器材ノ制式ヲ別紙圖面ノ通制定セラレ度關係書類ヲ添へ上申ス

上 申 書 類

鐵道器材 鐵道汽罐修理具制式兵器圖

七 葉

同 兵器製作圖

二 葉

同 兵器細目名稱表

一

同 概説竝審査經過ノ概要

一

陸軍 10.5.23

陸

陸軍 綾夫

陸軍 10.5.23 器材課

第四回同號其一

陸技本甲第三七二號

鐵道器材鐵道汽罐修理具圖面竝概說送付ノ件通牒

昭和十年七月十六日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島

滿殿

本年五月三十一日附陸普第三〇九六號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概說
各百拾貳通送付ス

(圖面九枚
概說壹枚)

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度



陸軍



021
 211
 210
 1111
 021
 021
 111
 111
 111
 021
 021

保存期限



決裁指定



決行指定



0 四

政務次官 回付 決裁前後連帶
 課名



決行(決裁)後
 回覽課名



57



受領番號

兵第五三〇號

起元應(課)名

陸軍技術本部

件名

兵器取扱法規定1件

大臣委

次官委

高級副官



主務副官
 官房御用掛

政務次官

參與官

書記官

審案
 筆記者

主務局長

主務課長

主務課員

主務局長
 受領番號

兵第五三〇號

連帶

局長

課長

提出

昭和十年六月十五日

決行後

局長

課長

大臣官房

昭和九年九月廿六日

決行後

局長

課長

主務課員

三三

三三

陸普第 達

關係陸軍部隊

機力器材九二式四十馬力空氣壓縮機取扱
法別冊一通定ム

年 月 日

陸軍大臣

陸普第五〇九一號 昭和十年九月十一日

一 本文ハ別冊ニ合綴シ事

二 官房ニ於テ印刷上別紙配賦表ヲ配賦セラル

度(印刷部教 課長部)

九月廿三日送

陸軍省印刷部
陸軍省印刷部
陸軍省印刷部



150	
145	1.4
135	1.50
130	
125	
120	
115	
110	
105	
100	
95	
90	
85	
80	
75	
70	
65	
60	
55	
50	
45	
40	
35	
30	
25	
20	
15	
10	
5	
0	

器材

別冊添付
陸軍省
五五〇號

陸軍省
昭和
10.6.15
砲兵官

陸

軍

陸技本甲第三〇七號

兵器取扱法制定相成度件上申

昭和十年六月十四日

陸軍技術本部長

岸本

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

左記兵器ニ對スル取扱法別冊ノ通制定相成度

追テ別冊二部送付ス

左 記

機力器材 九二式四十馬力空氣壓縮機

綾夫

陸軍省
10.6.15
器材課

021
211
215
1116.1

保存期限 永久
 決裁指定 牛島
 執行指定 牛島

政務次官 回付 決裁前連帶 (兵)
 決行(決裁)後 回覽課名

大臣 委		政務 次官		高級 副官		主務 副官		主務 課員	
局長		參與官		書記官		審案 筆者			
主務局長		主務局長		主務局長		主務局長		主務局長	
昭和三十四年五月九日		昭和三十四年四月十七日		昭和三十四年四月十九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日	
昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日	
昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日	
昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日	
昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日	
昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日		昭和三十四年五月九日	

案名 架橋器材九五式七馬力築頭外一點制式制定、件
 番號 參第 三二六號
 起元應(課)名 陸軍技術本部

永久甲 三干

0.5.7
 5.5
 11

長
 官

陸普弼

通

牒

副官より陸軍技術本部長へ

首題、件四月十六日附陸技本甲第一九〇號
上申、通制定セララルヘキニ付該兵器圖並
概説各一二三通調製表差出相成度

陸普第二六七二號

昭和十年五月九日

右圖面並概説差出アリタル上左案依リセラレ度

件名一同 右

副官より別紙配賦箇所

左記器材別紙圖面、通制定セラレタルニ付
該兵器圖並概説配賦目錄、通送付ス

陸軍省

陸軍省
陸軍部
陸軍技術本部長

左記

陸軍第四五二六號

昭和十年八月十三日

九五式七馬力築頭
九五式三馬力築頭

昭和拾年九月廿七日

陸軍

陸

軍

架橋器材九五式七馬力築路外點兵器四配賦表

第八師團	第七師團	第六師團	第五師團	第四師團	第三師團	第二師團	第一師團	近衛師團			配賦箇所	配賦部數	小計						
								兵器部	電道隊	鐵道隊									
兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部
工兵隊			電信隊		飛行隊														
一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	三	三	二	二	一	二	二	一
二航空本部	一關東軍	一臺灣軍	一第二十師團	一第十九師團	二第十六師團	二第十四師團	一第十二師團	第十一師團	第十師團	第九師團	第九師團	第九師團	第九師團	第十師團	第十一師團	第十二師團	第十三師團	第十四師團	第十五師團
飛行學校部	兵器部	飛行隊	飛行隊	兵器部	飛行隊	兵器部	飛行隊	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部	兵器部
一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

Handwritten notes on the right margin grid, including numbers like '021', '022', and '023'.

1.8
1.50
1111

考 備	部 監 總 育 教						造 兵	兵 器	兵 器 本 廠	築 城 部 本 部	參 謀 本 部	技 術 本 部	
	工 兵 學 校	通 信 學 校	士 官 學 校	野 戰 砲 兵 學 校	砲 工 學 校	本 部							
	一		一		一	一	三 六	一	一 五	一	一	二 五	
	一		一		一	一	三 六	一	一 五	一	一	二 五	
	計						部 監 總 育 教						
													習 志 野 學 校
	一 一 一												

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

別圖添附
別紙添附
第三三六

陸技本甲第一九〇號

架橋器材九五式七馬力築頭外一點制式制定ノ件上申

昭和十年四月十六日 陸軍技術本部長 岸 本 綏 夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題ノ器材別紙圖面ノ通制式制定相成度關係書類ヲ添へ上申ス

上 申 書 類

九五式七馬力築頭

同

同

九五式三馬力築頭

同

同

九五式七馬力築頭
三馬力

制式兵器圖

兵器製作圖

兵器細目名稱表

概 說

制式兵器圖

兵器製作圖

兵器細目名稱表

概 說

審査經過ノ概要

二葉

三一葉

一部

一部

二葉

二五葉

一部

一部

一部



陸軍



參 第三二三號其一

陸技本甲第四一〇號

架橋器材九五式七馬力築頭外壹點圖面並概說
送付ノ件通牒

昭和十年八月九日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島

滿殿



本年五月九日附陸普第二六七二號通牒ニ係ル首題ノ圖面並概說左記ノ通送付ス
追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度

左

架橋器材九五式七馬力築頭 (圖面) 參拾參枚
概說 壹枚

架橋器材九五式三馬力築頭 (圖面) 貳拾七枚
概說 壹枚

各百拾貳通



陸軍



陸善雄

通牒

副官より陸軍技術本部長へ

首題ノ件五月廿二日附陸技本甲第二五七號上
申ノ通制定セラルルハキニ付該兵器圖並概説
各一二三通調製差出相成度

陸普第三〇九九號 昭和十年五月卅一日

右兵器圖並概説差出ア、左案法リセラルレ度

件名一同右

副官より別紙配賦箇所

首題ノ件別紙圖面ノ通制式制定セラルレタリ存
該兵器圖並概説配賦目錄ノ通送付ス



任名一后

副官より別紙配賦箇所

首題ノ件別紙圖面ノ通制式制定セラレタル存
該兵器圖並概説配賦目錄ノ通送付ス



陸軍第四五五八號 昭和十年八月十四日



昭和拾年九月廿七日

陸軍

陸軍

考 備	部 監 總 育 教					造 兵	兵 器	兵 器 本 廠	築 城 部 本 部	參 謀 本 部	技 術 本 部
	工 兵 學 校	通 信 學 校	士 官 學 校	野 戰 砲 兵 學 校	砲 工 學 校						
	一		一		一	一	一	一	一	一	二 五
	一		一		一	一	一	一	一	一	二 五
	計					部 監 總 育 教					
											智 志 野 學 校

圖面添付
別紙添付

陸技本甲第二五七號

四四五



陸



昭和十年五月二十二日
鐵道器材鐵道車輛檢測具制式制定ノ件上申
陸軍技術本部長 岸本 夫

考備	部監
	通信學校
	工兵學校
	計

圖面添付
別紙添付

陸技本甲第二五七號

器材
陸軍

鐵道器材 鐵道車輛檢測具制式制定ノ件上申

昭和十年五月二十二日

陸軍技術本部長 岸本 綾夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題器材ノ制式ヲ別紙圖面ノ通制定セラレ度關係書類ヲ添へ上申ス

上 申 書 類

鐵道器材 鐵道車輛檢測具制式兵器圖

兵器製作圖

兵器細目名稱表

概説竝審査經過ノ概要

同 同 同

一 一
三 〇
一 一 葉 葉

四四五



陸



鐵道車輛檢測具

概
查
經
過
ノ
概
要
說

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11

37.11



鐵道車輛檢測具概說

用途

鐵道車輛檢測具ハ普通鐵道（廣軌、準軌）及輕便鐵道車輛ノ檢查ニ用ウ

構造及機能

鐵道車輛檢測具ハ汽筒、變裝筒、車輪、車軸及輪軸距離等ノ測定用工具一式ヨリ成リ箱一

ニ收入ス

部品ノ名稱、員數及主要用途次表ノ如シ

全重量ハ四二五トス

部品名稱	員數	主要用途	摘要
心出器	一	廣軌及準軌機關車汽筒心出用	
輕便心出器	一	輕便機關車汽筒心出用	
畫線規	一	心出用	
廣規輪帶規	一	各車輪磨耗度測定用	
準規輪帶規	一		

7.5
11.5
1.4
1.4
1.4

輕便輪帶規	一	各車輪磨耗度測定用
輪隔規	一	廣軌及準軌車輛車輪內側距離測定用
輕便輪隔規	一	輕便車輛車輪內側距離測定用
桿心規	一	輕便車輛輪軸距離測定用
十米鋼製卷尺	一	廣軌及準軌車輛輪軸距離測定用
內側測微尺	一	裝置測定用
外側測微尺	一	同右
間隙測定主規	一	車匡及車軸取附部ノ間隙測定用
內測徑規	一	軸部ノ內徑測定用
大車外測徑規	一	車軸、曲軸ノ外徑測定用
遊標尺	二	各部ノ內外徑測定用

鐵道車輛測定器具(音譯) (一) 鐵道車輛測定器具 (二) 鐵道車輛測定器具 (三) 鐵道車輛測定器具

鐵道車輛測定器具

鐵道車輛

鐵道車輛檢測具審査經過ノ概要

一、審査ノ起因

普通鐵道（廣軌、準軌）及輕便鐵道車輛ノ檢査用器材ノ必要ヲ認メ昭和九年二月部案トシテ研究ニ著手ス

二、審査ノ經過

(一) 昭和九年九月鐵道車輛檢測具ノ試製完了ス

(二) 昭和九年十月鐵道第二聯隊ニ於テ輕便鐵道車輛ニ對スル實用試驗ヲ實施シ實用ニ適スルモノト認ム

(三) 昭和十年二月鐵道省大宮機關庫ニ於テ準軌鐵道車輛ニ對スル實用試驗ヲ實施シ實用ニ適スルモノト認ム

(四) 昭和十年三月鐵道第二聯隊ニ於テ廣軌鐵道車輛ニ對スル實用試驗ヲ實施シ實用ニ適スルモノト認ム

以上ニ依リ鐵道車輛檢測具ハ制式器材トシテ制定然ルヘキモノト認メ審査ヲ終了ス

(一) 陸軍省副官 牛島 滿 殿

二、 審查ノ概説

とて附子ニ書キス

陸軍省副官(牛島) 昭和十年八月十二日

一、 審查ノ要因

鐵道車輛檢測具

陸軍

陸技本甲第四一二號



鐵道器材鐵道車輛檢測具圖面竝概説送付ノ件通牒

昭和十年八月十二日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島 滿 殿

本年五月三十一日附陸普第三〇九九號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概説

(圖面貳拾參枚) 概説 壹枚 各百拾貳通送付ス

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度



Handwritten number 7005

211
211
211

111
111
111

111
111
111

111
111
111

111
111
111

111
111
111

111
111
111

111
111
111

111
111
111

三四

保存期限

永久

決裁指定

牛島

決行指定

牛島

政務次官
回付

決裁
後

連帶
課名

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

受領
番號

參第五六〇號

起元廳(課)名

陸軍技術本部

件名

寫真器材九五式切生遠寫真機制式制定件

大臣
委任

政務
次官

次官

主務
局長

參與官

高級
副官

主務
課長

書記官

主務副官
官房御用掛

主務課員

審案
筆記者

號番

參第一〇八號

領受

昭和十年五月二二日

提出

昭和 陸軍省六月廿八日

領受

昭和 六月廿八日

了結

昭和 九月三十日

連帶

局長

局長

長課

長課

左

尾

陸軍省
12.6.27
274

陸普號

通

牒

副官長 陸軍技術本部部長

首題、件六月廿日附陸技本甲第三二四號上申

ノ通可被定ニ付該構造要領一三七通調製差

出相成度

陸普第三六八九號

昭和十年六月廿九日

右構造要領差出カリタル上左案決行「セラレ度

件名一同右

副官長別紙配賦箇所

首題、件別紙構造要領ノ通制式制定セラレタル

ニ付該構造要領配賦目錄ノ通送付ス

陸普第四八五七號 昭和拾年九月廿日



現品添付
別紙添付

陸軍省
參第五六〇號



陸軍

陸技本甲第三二四號

寫真器材九五式望遠寫真機制式制定ノ件上申

昭和十年六月二十日

陸軍技術本部長 岸 本 綾 夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題器材ノ制式ヲ別紙構造要領ノ通制定相成度關係書類ヲ添へ上申ス

上 申 書 類

寫真器材 九五式望遠寫真機 兵器構造要領

二 葉

同

兵器細目名稱表

一 部

同

審査經過ノ概要

一 部



参
五
三
一

陸技本甲第四三四號

寫真器材九五式望遠寫真機構造要領送付ノ件通牒

昭和十年八月三十一日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島・滿 殿

本年六月二十九日附陸普第三六八九號通牒ニ係ル首題ノ構造要領（貳枚）百參拾七通送付ス

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上器材課へ直送可致ニ付承知セラレ度



陸
軍

護



Handwritten notes on the right margin, including numbers and names, possibly a filing list or index.

保存期限 (Retention Period) 永久 (Forever)
 決裁指定 (Designated for Decision) 局長 (Bureau Chief)
 決行指定 (Designated for Execution) 牛島 (Ushima)

四四 (44)

大臣委		事務局長		政務次官	
局長		高級副官		參與官	
課長		主務副官		書記官	
		主務課員		審案筆記者	
局		課		課	
局長		局長		局長	
昭和三十二年七月十三日		昭和三十二年七月十四日		昭和三十二年七月十三日	
昭和三十二年七月十三日		昭和三十二年七月十四日		昭和三十二年七月十三日	
昭和三十二年七月十三日		昭和三十二年七月十四日		昭和三十二年七月十三日	
昭和三十二年七月十三日		昭和三十二年七月十四日		昭和三十二年七月十三日	
昭和三十二年七月十三日		昭和三十二年七月十四日		昭和三十二年七月十三日	
昭和三十二年七月十三日		昭和三十二年七月十四日		昭和三十二年七月十三日	

參第 600 號
 兵器取扱法規定ノ件

政務次官 回付 決裁前連帶
 參與官 回付 決裁後連帶

決行(決裁)後 回覽課名

起元廳(課)名

陸軍技術本部

永久甲 五子

陸軍省 10.7.11 號

牛島

秋山

陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸善輝

達

關係陸軍部隊

測量器材九三式測高計取扱法別冊ノ

通定ハ

年 月 日

陸軍大臣

陸警第五三六六號

昭和十年九月廿三日

一本達文ハ別冊ニ合綴ノ事

二別冊ハ官房ニ於テ印刷上別紙配賦表ニ

配賦セリ度(印刷部數 三。部)

陸善輝



陸軍

現品添付

陸軍省 參第六〇〇號

陸技本甲第三四九號

兵器取扱法制定相成度件上申

昭和十年七月三日 陸軍技術本部長 岸 本

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

左記兵器ニ對スル取扱法別冊ノ通制定相成度

追テ別冊二部送付ス

左 記

測 量 器 材

九 三 式 測 高 計



大田...
 大田...
 大田...
 大田...
 大田...
 大田...
 大田...
 大田...
 大田...
 大田...

第四五

保存期限
 永久
 決裁指定
 牛島
 決行指定

大臣	牛島	局長	主務	課長	主務課員
次官		高級副官		官房御用掛	主務副官
政務次官		參與官		書記官	
陸軍省兵器局器材課 起元應(課)名					
陸軍省兵器局器材課					
審案 筆記者					

受領番
 件名
 各部隊演習器材假定教表改定ノ件
 永久
 陸軍省兵器局器材課
 起元應(課)名

政務次官 回付

決裁前後 連帶 課名

軍務部

起元應(課)名

決行(決裁後) 覽
 10.8.13
 軍事課

10.8.14
 受46
 軍事課

主務局長
 受領日
 昭和三十八年九月三日

決行(決裁後) 覽
 局長

決行(決裁後) 覽
 局長

決行(決裁後) 覽
 局長

左